

# 奥栗山溪谷マップ

—下仁田ジオパーク—

清涼感と溪谷美。ジオが創り出す魅カスポット



広域地図内

- トイレ
- 国道
- 県道
- 駐車場
- 上信電鉄

**安全にハイキングをしていただくために**

- 途中鎖場もございます。登山靴を履き、雨具、十分な食料、飲み物等を備えマナーを守って安全に登山を楽しんで下さい。
- 熊に注意！鈴等を携行するか、複数で歩きましょう。

栗山緑地広場から昇龍の滝まで片道約45分

※コースタイムは目安であり、体力・休憩時間により差が出ます。

箱淵峡・三段の滝まで 1.9km

昇龍の滝まで 2.1km

散策図内

- コース (遊歩道)
- 林道 未舗装
- 川 (沢)

※林道栗山線は路面が荒れています。

**5 幻の石灰岩体**

明治5年から操業を始めた富岡製糸場は木骨煉瓦造という工法で造られています。レンガはフランドル(フランス)積という工法で積み、目地には栗山と青倉の石灰が使われたと記録に残っています。また、明治7年から操業を始めたといわれる中小坂鉄山の洋式製鉄所で使われた石灰岩も主に栗山産の物が使われたとのこと。石灰を焼いたと言われる周辺に大きな石灰岩帯を見ることができません。もしかすると昇龍の滝の南方に大きな石灰岩帯があるのかもしれない。



**1 箱淵峡**

奥栗山溪谷の大部分は、色とりどりのチャートできています。チャートはとても硬い岩石なので川が岩盤を削り美しい滝や峡谷を作っています。

**2 三段の滝**

三段の滝の壁の縞模様は、海の底で水平にたまって長年かけてできたチャートがその後の大きな力を受けて、垂直になっています。

**3 昇龍の滝**

水量によっては渡れません

**4 炭焼き窯**

中へは入らない

滝つぼが美しい小さな滝

注意標

クサリ

三段ハシゴ

岩場(転落注意)

栗山緑地広場役場から約5.6km

空地处り(車も止められる)

林道栗山線 未舗装(状況悪)

Pから空地まで1.2km

遊水

**6 栗山湧水**

幻の石灰岩体 (採掘され尽くした?)

ねあ坊

**植物の見どころ**

シダ植物、コケ植物が多種多様にあり、緑のじゅうたんを作っています。

**季節のみどころ**

春：ヒトリシズカ  
夏：ヤマアジサイ、タマアジサイ  
秋：モミジ

**奥栗山の大地の生い立ち**

大陸

砂・泥

サンゴ礁 → 石灰岩

旧海底火山

海底堆積物 → チャート

海溝

海嶺

プレートに乗った地層は、陸側へ移動し、海溝にたどりついた海の地層は陸側に張り付きながら隆起する

①2~1億年前、海の底で海底火山やサンゴ礁、プランクトンの死がいなどがつもり、地層が作られます。

② ①の時に地層がプレートによって陸側へ近づき、海溝近くで陸側へ貼りつきます。その後、隆起など地殻変動を繰り返し、現在のようになったのです。

**4 炭焼き窯**

炭は黒炭と備長炭を代表とする白炭に分けられます。この窯は白炭の窯です。窯の中で燃焼を止め蒸し焼きにする黒炭と違い、燃え盛る赤い炭を窯から出し、灰を掛け、燃焼を止めて出来るのが白炭です。燃焼時間が長く火力も強いことから、焼き鳥やうなぎの蒲焼きをはじめとする焼き物には欠かせません。

なお、良い炭を作るためにはクドと呼ばれる煙突の作り方が重要で、良い炭の産地には炭窯名人と炭窯に向いた石があったそうです。

**3 昇龍の滝**

昇龍の滝は地層が堆積した面に沿って水が流れています。その様子が龍が滝を登っているように見えることから名前がつけられたようです。

お問い合わせ先 **下仁田町自然史館**

群馬県甘楽郡下仁田町大字青倉 158-1  
下仁田町ジオパーク推進室 (9:00~16:00)

TEL: 0274-70-3070

電話をすればボランティアガイドの予約も可能です。  
※場合によりご希望に添えない場合もございます。予めご了承下さい。  
※ルールを守って貴重な資源を守りましょう。